



聖書と証の書から
罪の赦しと除去について考える



2024年7月27日
谷口

罪 聖書に登場する「罪」のデータ **sin**

➡ 該当聖句：1033聖句/1248個 ➡ 旧約聖書：726聖句/875個
 新約聖書：307聖句/373個

旧約聖書	聖句	%	聖句数	個	新約聖書	聖句	%	聖句数	個
レビ記	102	12	859	135	ローマの信徒への手紙	59	14	431	81
アモス書	15	11	146	24	ヘブライ人への手紙	30	10	300	35
					ヤコブの手紙	10	10	108	13
					ヨハネの手紙一	16	16	105	28



⑨ 聖句：罪を含む聖句数 = α、聖句数：各書の総聖句数 = β、個：罪という語の数

⑩ % = α / β * 100 → 10%以上をリストアップ ➡ EX) レビ記 102 / 859 * 100 ≒ 12%

レビ記	102	12	135
民数記	74	6	89
詩篇	60	3	62
ローマの信徒への手紙	59	14	81
エゼキエル書	58	5	66
ルカによる福音書	44	4	47
イザヤ書	40	4	44
エレミヤ書	40	3	46
ヨブ記	36	4	38
箴言	34	4	35
ヨハネによる福音書	31	4	39
ヘブライ人への手紙	30	10	35
列王記上	28	4	41
サムエル記上	25	4	29
申命記	24	3	33
マタイによる福音書	24	3	26
列王記下	23	4	37
出エジプト記	22	2	28

歴代誌下	22	3	28
使徒言行録	18	2	18
マルコによる福音書	17	3	18
創世記	16	2	17
ホセア書	16	9	19
ヨハネの手紙一	16	16	28
アモス書	15	11	24
ダニエル書	14	4	14
サムエル記下	12	2	13
エズラ記	12	5	15
ネヘミヤ記	12	3	17
コリントの信徒への手紙一	12	3	16
ヤコブの手紙	10	10	13
哀歌	8	6	11
ミカ書	8	8	9
コリントの信徒への手紙二	7	3	8
ペトロの手紙一	7	7	8
ガラテヤの信徒への手紙	6	5	7

テモテへの手紙一	6	6	8
ヨシュア記	5	1	5
歴代誌上	5	1	5
エフェソの信徒への手紙	5	4	5
士師記	4	1	4
ゼカリヤ書	4	2	4
ペトロの手紙二	4	7	4
コヘレトの言葉	3	2	3
ヨハネの黙示録	3	1	3
コロサイの信徒への手紙	2	3	3
テモテへの手紙二	2	3	2
ユダの手紙	2	8	2
ヨエル書	1	2	1
ハバクク書	1	2	1
ゼファニヤ書	1	2	1
マラキ書	1	2	1
テサロニケの信徒への手紙一	1	2	1
テトスへの手紙	1	3	1

罪 sin

- I 罪とは、イエス・キリストを信じないことです（ヨハネによる福音書 16 : 9）。
- ・ヨハネによる福音書 16 : 9 罪 sin については、彼らが私を信じないこと（新共同訳）。
- II 罪とは、法に背くことです（ヨハネの手紙一 3 : 4）。
- ・罪を犯す者は皆、法にも背くのです。罪とは、法に背くことです（新共同訳、以下同）。
 - ・すべて罪を犯す者は、不法を行う者である。罪は不法である（口語訳）。
 - ・罪を犯す者は皆、不法を行っています。罪とは不法のことです（聖書協会共同訳）。
 - ・Whosoever committeth sin transgresseth also the law: for sin is the transgression of the law（欽定訳）。
- III 罪とは、なすべき善を知りながら、それを行わないことです（ヤコブの手紙 4 : 17）。
- ・人がなすべき善を知りながら、それを行わないのは、その人にとって罪です。
 - ・人が、なすべき善を知りながら行わなければ、それは彼にとって罪である。
 - ・だから、なすべき善を知りながら行わないなら、それはその人の罪です。
 - ・Therefore to him that knoweth to do good, and doeth it not, to him it is sin.
- IV 罪とは、信仰に基づいていないことすべてです（ローマの信徒への手紙 14 : 23）。
- ・疑いながら食べる人は、確信に基づいて行動していないので、罪に定められます。確信に基づいていないことは、すべて罪なのです。
 - ・しかし、疑いながら食べる者は、信仰によらないから、罪に定められる。すべて信仰によらないことは、罪である。
 - ・しかし、疑いながら食べる人は、罪に定められます。信仰に基づいていないからです。信仰に基づいていないことはすべて、罪なのです。
 - ・And he that doubteth is damned if he eat, because he eateth not of faith: for whatsoever is not of faith is sin.



➤創世記3:2~3→狡猾な蛇は最初に女を食物で騙そうと試みた。
女は蛇に答えた。「わたしたちは園の木の果実を食べてもよいのです。
でも、園の中央に生えている木の果実だけは、食べてはいけない、
触れてもいけない、死んではいけないから、と神様はおっしゃいました。」

➤創世記3:4~5

蛇は女に言った。「決して死ぬことはない。それを食べると、目が開け、
神のように善悪を知るものとなることを神はご存じなのだ。」

➤創世記3:6

女が見ると、その木はいかにもおいしそうで、目を引き付け、賢くなるように唆していた。

女は実を取って食べ、一緒にいた男にも渡したので、彼も食べた。

→ I テモ2:14 しかも、アダムはだまされませんでした。女はだまされて、罪を犯してしまいました。

And Adam was not deceived, but the woman being deceived was in the transgression (sinが使われていない→∴この時、「罪」sinそのものが存在しない)。

☞神が食べないように命じた木の实を食べた時、人間(the man & the woman)は善悪を知っただけではなく、初めて罪悪感と恥の激しい痛み(認識)を感じた。

こうして初めに与えられていた神と人間との間の完全な関係は、この時点で壊された。

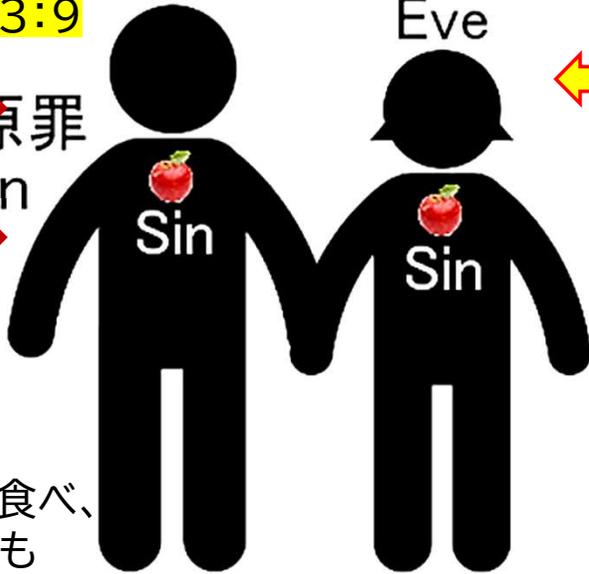


ヨハネの手紙一3:9

~~NO~~ ~~original sin~~ ~~原罪~~ ~~NO~~

Adam

Eve



創世記1:26ab

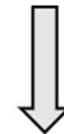
神は言われた。「我々にかたどり、我々に似せて、人を造ろう。Let us make man in our image, after our likeness.」



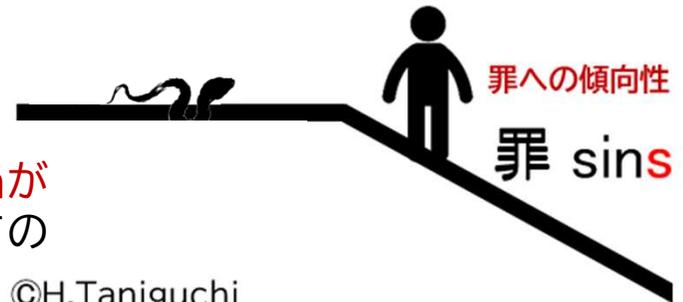
創世記3:6b

女は実を取って食べ、一緒にいた男にも渡したので、彼も食べた(上図)。

⇒ ⇒ ⇒ ⇒ 【エデンの園を追放】(創世記3:24)
神と人間との間の完全な関係の断裂



罪の侵入【罪への傾向性】



the fruit of the trees of the garden ©H.Taniguchi

ローマ5:12 このようなわけで、一人の人によって罪sinが世に入り、罪によって死が入り込んだように、死はすべての人に及んだのです。すべての人が罪を犯したからです。

©H.Taniguchi

○人間の本性（参考：信仰の大要 7. 人間の本性）

人間は、個性を備え、思考し、行動する力と自由を持つ神のかたちに造られた。人間は自由な存在として造られたが、肉体と精神と魂の分けることのできない統一体であって、いのちと呼吸とその他すべてを神に依存している。アダムとエバが神に従わなかったとき、彼らは神に頼ることを拒み、高い地位から転落してしまった。彼らのうちにある神のかたちは傷つけられ、彼らは死ぬべきものとなった。

（彼らの）子孫たちはこの墮落した性質とその結果を受け継いだ。彼らは弱さと悪への傾向を持って生まれる。しかし神は、キリストにおいて世をご自分と和解させ、聖霊によって悔い改めた者のうちに造り主のみかたちを回復させられる。人間は神の栄光のために造られ、神と人を愛し、その周囲のものを管理するように召されている。

→引用聖句 創世記 1:26～28、2:7、15、3 章、詩編 8:5～9、51:7、12、58:4、エレミヤ 17:9、使徒言行録 17:24～28、ローマ 5:12～17、II コリント 5:19、20、エフェソ 2: 3、I テサロニケ 5:23、I ヨハネ 3:4、4:7、8、11、20

使徒パウロでさえ、義の生活を実践することに失敗しました。・・・ついに、パウロは、勝利を得るためには神の力が必要であることを認めました。彼はキリストによって肉の生活に打ち勝ち、み霊によって新しい人生を始めました（ローマ 7: 25、8: 1）。

聖霊による新しい人生は神から与えられる賜物です。神の恵みをとおして「罪過と罪とによって死んでいた」わたしたちは勝利者になるのです（エフェソ 2: 1、3、8～10）。霊的再生は、わたしたちがそれを新しい創造、すなわち「古いものは過ぎ去った」「すべてが新しくなった」（II コリ 5: 17）と言えるほどに生活をすっかり変えてしまいます（ヨハネ 1: 13、3: 5）。

しかしながら、新しい命は罪を犯す可能性を取り除くではありません（I ヨハネ 2: 1）。 （アドベンチストの信仰 P. 155～156）

☑️ トラブルにならない訂正の仕方（二重線＋訂正印）

マタイによる福音書 22 章 2 節

「天の国は、ある王が王子のために婚宴を催したのに似ている。



2字削除2字加入



婚姻

「天の国は、ある王が王子のために~~婚宴~~を催したのに似ている。

The kingdom of heaven is like unto a certain king, which made **a marriage** for his son,

④ 誤記部分に二重線を引き、手書きで加筆訂正(青字部分)し、当事者の訂正印を押す。

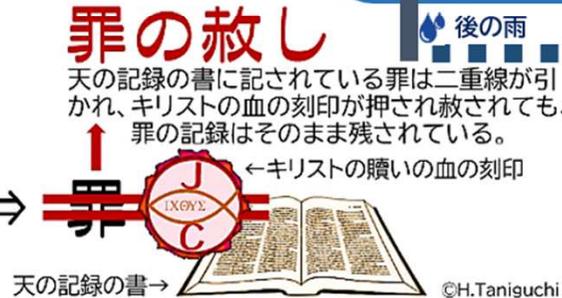
➡️ 削除(消去)するのではなく、すべての記録(履歴)を残すことが重要!

γάμος : marriage , wedding

真摯な悔い改め

- ▶ **日曜休業令** ▶ 生ける者の裁き ▶ 後の雨(品性の成熟)
- ▶ **罪の除去** = 神の印(⇔ 獣の刻印) = 144000 人の出現
- ▶ **恩恵期間の終了**
- ▶ 大いなる悩み
- ▶ **再臨** → 千年期 → **新しい天と新しい地**

悔い改め(メタノイア metanoia)



天の記録から 罪の除去がされる

●大祭司は、最後の贖いをするために至聖所に入った。
→レビ記 16:30 なぜなら、この日にあなたたちを清めるために贖いの儀式が行われ、あなたたちのすべての罪責(口語訳:もろもろの罪)が主の御前に清められるからである。
希望への光 P.182、人類のあけぼの上巻 P.422

ヨハネの手紙一1:9

自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を赦し、あらゆる不義からわたしたちを清めてくださいます。

☉人類のあけぼの 第53章 初期の士師たち（希望への光P.290）

真の悔い改めは、罪について悲しむだけではない。それは、罪悪から断固として離れることである。

☉国と指導者 第59章 理想のイスラエル（希望への光P.647）

神の祝福は、真心からの悔い改めによってのみ与えられるものである。「あなたがたは、神がわれわれをあわれまれるように、神の恵みを求めてみよ」と、マラキは訴えたのである(マラキ 1:1、9)。

☉キリストの実物教訓 第2章 種まきの話 土地の準備（希望への光P.1206）

心の畑は、耕さなければならない。土地は、罪に対する真心からの悔い改めによって、くだかれなければならない。悪魔的毒草は、ぬかななければならない。いばらが一面に生えていた土地は、けんめいに努力してこそはじめて回復することができるのである。そのように、生まれながらの心の悪の傾向も、イエスの名と力によって、熱心に努力してこそ、打ち勝つことができるのである。

➡豊かな人生の秘訣 第2章 心に種をまく 土地の準備

☉キリスト教への道 告白（希望への光P.1947）

真の悔い改めは、自分の罪を自分で負い、なんの虚飾も偽善もなく、罪を認めるのであります。「神様、罪人のわたしをおゆるしてください」と叫ぶのです。自分の罪を認める者は義とされます。イエスは悔い改めた魂のために、自分の血をもって、執り成しをされたからであります。

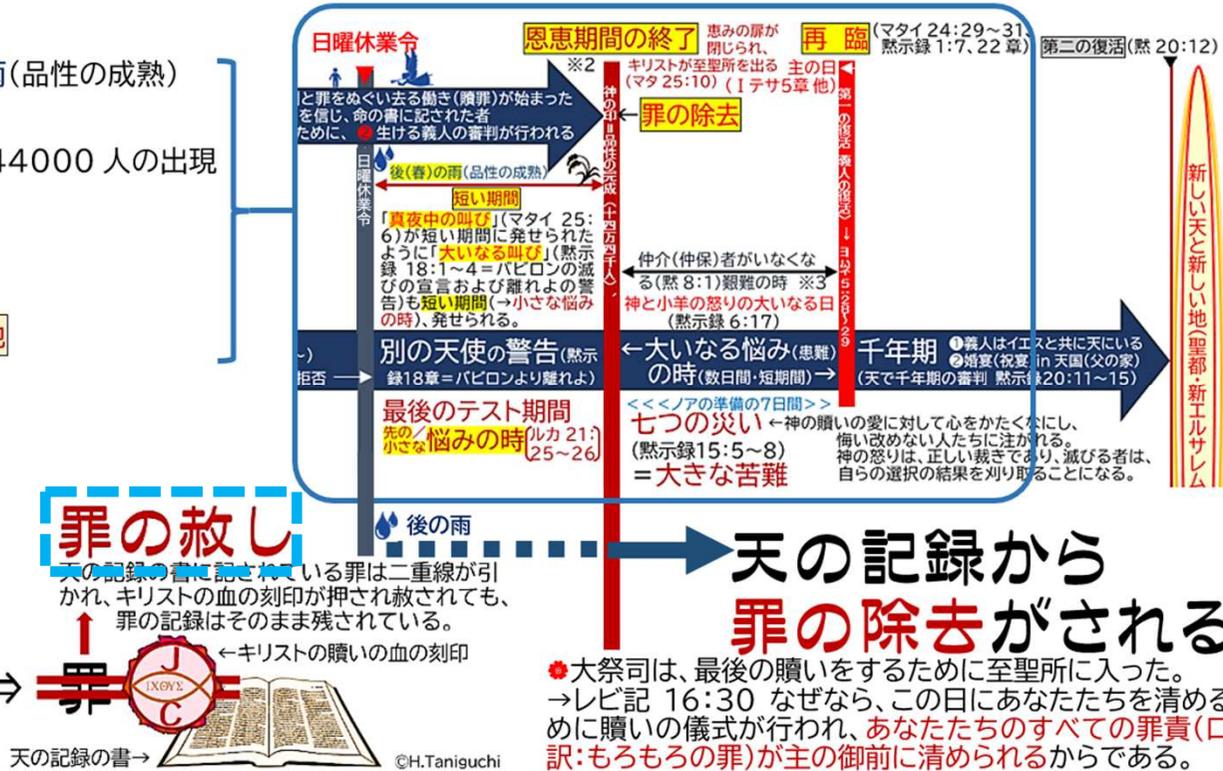
罪の赦し

- ▶ 日曜休業令 ▶ 生ける者の裁き ▶ 後の雨(品性の成熟)
- ▶ 罪の除去 = 神の印(⇔ 獣の刻印) = 144000 人の出現
- ▶ 恩恵期間の終了
- ▶ 大いなる悩み
- ▶ 再臨 → 千年期 → 新しい天と新しい地

悔い改め(メタノイア metanoia)



真摯な
罪 ⇒ 悔い改め ⇒ 罪



➡ ①キリストの血は、悔い改めた罪人を律法の宣告から解放したが、②それは罪を消し去るもの(→罪の除去)ではなく、③最終的な贖罪の時まで聖所の記録に残るのである。 cancel, putting away=取り消す
そのように象徴においても、罪祭の血は悔い改めた者から罪を取り除いたが、罪は贖罪の日まで聖所に残った。

希望への光 P.182、人類のあけぼの 上巻 第30章 幕屋の制度と儀式 P.422



キリストの血は、悔い改めた罪人を律法の宣告から解放したが、しかし、それは罪を消し去るものではなかった。罪は最終的な贖罪の時まで聖所の記録に残るのである。そのように象徴においても、罪祭の血は悔い改めた者から罪を取り除いたが、罪は贖罪の日まで聖所に残った。

The blood of Christ, while it was to release the repentant sinner from the condemnation of the law, was not to cancel the sin; it would stand on record in the sanctuary until the final atonement; so in the type the blood of the sin offering removed the sin from the penitent, but it rested in the sanctuary until the Day of Atonement.

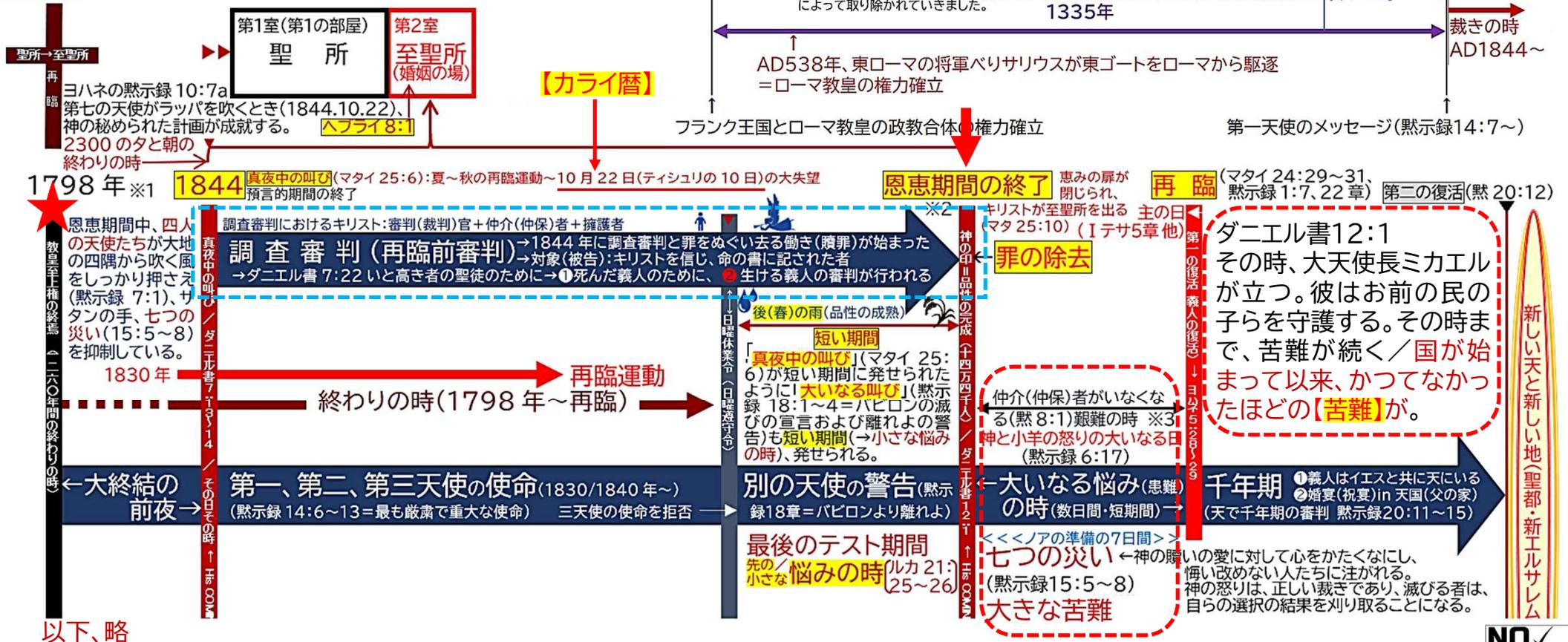


大いなる最後の報いの日に、死者は、「そのしわざに応じ、この書物に書かれていることにしたがって、さばかれ」る(黙示録 20:12)。このとき、真に悔い改めたすべての者の罪は、キリストの贖罪の血によって、天の書物から消される。こうして、聖所から罪の記録が除かれ、清められるのである。象徴においては、この大いなる贖罪のみわざ、つまり、罪を消し去ることは、贖罪の日のつとめによってあらわされた。すなわち、地上の聖所を汚していた罪を除いて清めることは、罪祭の血によってなしとげられた。真に悔い改めた者の罪が、ついに贖われて、天の記録から消されて、もはや思い出すことも心に浮かぶこともなくなるように、象徴では罪は荒野に追いやられ、会衆から永遠に切り離された。

調査審判(再臨前審判)

24.天の聖所におけるキリストの奉仕

【略図】神の救いの計画



以下、略

➤ 今、われわれの大祭司がわれわれのために贖いをしておられる間に、われわれは、キリストにあって【完全】になることを求めなければならない。…略…心の中に罪の欲望があると、サタンはそれを用いて誘惑の力を表わす。しかし、…略…サタンは、神の子の中に、彼に勝利を得させるなんのすきも見つけることができなかった。神のみ子は、天父の戒めを守られた。そして、サタンが自分に有利に活用することのできる罪が、彼の中にはなかった。これが、(恩恵期間が終わるまでの)悩みの時を耐えぬく人々のうちになければならない状態なのである。

➤ われわれが、キリストの贖罪の血を信じることによって、罪を捨て去らなければならない^⑨のは、現世においてである。われわれの尊い救い主は、われわれが彼と結合して、われわれの弱さを彼の力に、われわれの無知を彼の知恵に、われわれの無価値さを彼の功績に結びつけるよう招いておられる。…略…われわれの品性を天の型に形造るために神が用いられる手段に、われわれは協力しなければならない。このことを怠ったり、遅らせたりする者は、必ず魂を最も恐ろしい危険にさらすことになるのである。

(大いなる悩みの時 準備するのは今 各時代の争闘 第39章 希望への光P.1902)

⑨罪を棄て去るseparate sin≠罪の除去

Bible Commentary 6 巻 P.1118、スタディ・バイブル(新約)P.426～427

「我々は彼(キリスト)に満ち満ちているもの、我々の前に置かれた目標<キリストの品性の完全>を求めているであろうか。主の民がこの目標に到達するとき、彼らはその魂に印されるのである。聖霊に満たされて、彼らは、キリストにあって完全になり、記録の天使が、『完了した』と宣言する。

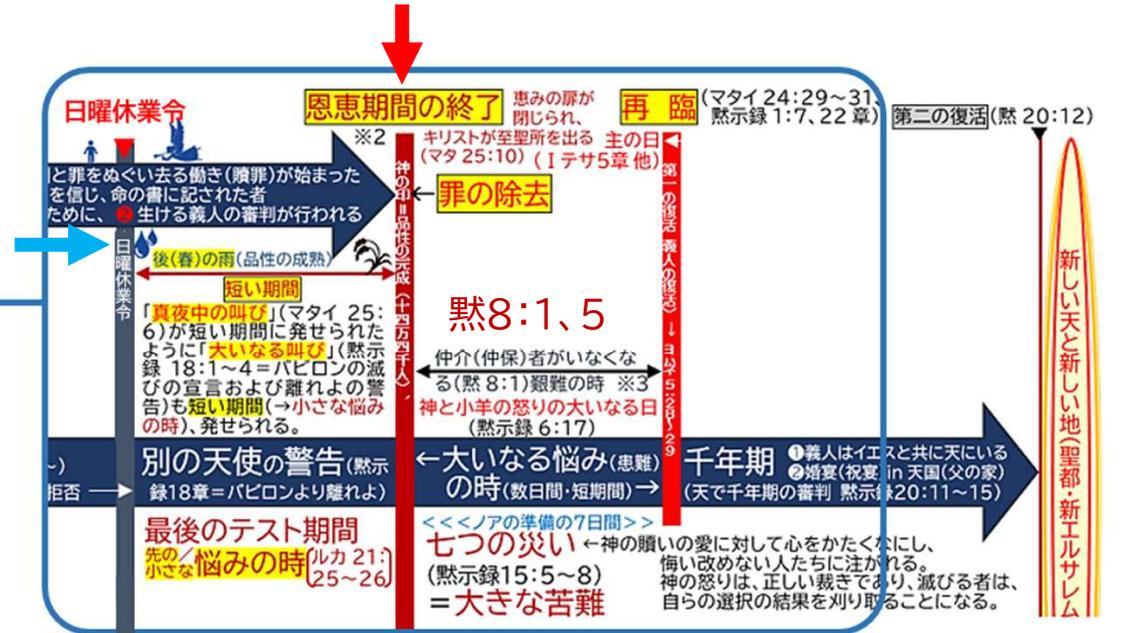
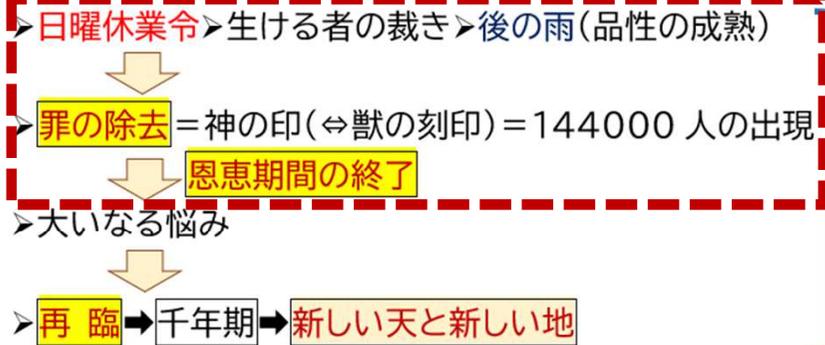
→「聖霊に満たされて」:「後の雨」によって品性が熟され、キリストにあって完全になる過程が確かに完了した時に、主の民は神の刻印を押される。

初代文集(P.452)

わたしは天使たちが、天をあちこちと飛びまわっているのを見た。墨入れを持った1人の天使が、地上から帰ってきて、自分の働きの終わったことを報告した。そこで聖徒の数がかぞえられて封印された。すると、それまで十戒の納められている箱の前で奉仕しておられたイエスが、香炉を投げ捨てられるのをわたしは見た。彼は両手をあげて、大きな声で、「事はすでに成った」と言われた。

→ヨハネの黙示録 8:5 それから、天使が香炉を取り、それに祭壇の火を満たして地上へ投げつけると、雷、さまざまな音、稲妻、地震が起こった。

罪の除去(天の至聖所)



悔い改め(メタノイア metanoia)



罪 ⇒ 真摯な悔い改め ⇒ 罪

罪の救し

天の記録の書に記されている罪は二重線が引かれ、キリストの血の刻印が押され救されても、罪の記録はそのまま残されている。



天の記録から罪の除去がされる

大祭司は、最後の贖いをするために至聖所に入った。→ 16:30 なぜなら、この日にあなたたちを清めるために贖いの儀式が行われ、あなたたちのすべての罪責(口語訳: もろもろの罪)が主の御前に清められるからである。

真に悔い改めた者の罪が、ついに贖われて、天の記録から消されて、もはや思い出すことも心に浮かぶこともなくなる ! → 罪の除去

「罪の赦し」も「罪の除去」も両方とも、イエス・キリストにしかできない働きである！

あなたの罪は赦された

マタイによる福音書	<p>9:2 すると、人々が中風の人を床に寝かせたまま、イエスのところへ連れて来た。イエスはその人たちの信仰を見て、中風の人に、「子よ、元気を出しなさい Son, be of good cheer. あなたの罪は赦される thy sins be forgiven thee」と言われた。</p> <p>→sins ἁμαρτία hamartía, ham-ar-tee'-ah; ハマーラティア; a sin (properly abstract):-offence, sin(-ful). 罪 (正確には抽象的) :-違反、罪深い。</p>
-----------	---

➡マタイ 9:5、6、マルコ 2:5、9、ルカ 5:20、23

ルカ 7:48 そして、イエスは (その罪深い) 女 (→マグダラのマリア) に、「**あなたの罪は赦された Thy sins are forgiven**」と言われた。

罪を取り除く

ヨハネによる福音書	<p>1:29 その翌日、ヨハネは、自分の方へイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く taketh away the sin of the world 神の小羊だ。</p> <p>→taketh away αἴρω aírō, ah'-ee-ro; away with, bear (up), carry, lift up, loose, make to doubt, put away, remove, take (away, up).取り除く、取り去る。</p> <p>→sin マタイ 9:2 に同じ</p>
-----------	--

➡ローマ 11:27、ヘブライ 10:4、11、Iヨハネ 3:5

私たち罪人が「罪の赦し」と「罪の除去」を受けるためには、**罪を告白して棄て去る putting away of sin** (Great Controversy 418) ことなのです。何故ならば、人間に**自由意志**を与えられた、神様は人間(罪人)の心の中にある罪を本人の承諾なくして無理やり(勝手)に取り除くことができないからです。

瞑想の言葉

罪の赦しと罪の除去(イエス・キリストにしかできない働き)

「心から罪を悔い改め、信仰によってキリストの血を自分の贖いの犠牲として要求する者はみな、天の書にある彼の名の横に(罪の)赦し書き込まれる。彼らがキリストの義にあずかる※者となり、その品性が神の律法に調和するものとなる時、その罪は取り除かれ、彼ら自身、永遠の命を受けるにふさわしい者と認められる。」

エレン・G・ホワイト『私を生かす信仰』P.212

※あずかる = 与かる(与る) = (恩恵等を)受ける、いただく。

イザヤ書43:25

わたし、このわたしは、わたし自身のために／あなたの背きの罪をぬぐい
あなたの罪を思い出さないことにする。

ミカ書7:19

主は再び我らを憐れみ／我らの咎を抑え／すべての罪を海の深みに投げ込まれる。



三田聖書研究会